



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

SOPHIA
AFRICA
WEEKS

協力:国際協力機構(JICA)関西センター

上智大学はTICAD 9の
パートナー事業を開催します



上智大学アフリカWeeks 2025 in 大阪

参加費無料
対面実施
途中入退場OK
要事前申込

食卓から見る アフリカの多様性

2025年5月18日 日 14:00~16:30



▲申込・詳細はこちら

会場:上智大学大阪サテライトキャンパス

日本の約80倍もの面積を持つアフリカ大陸には50を超える国々と、さまざまな民族、言語、宗教が共存しています。日本で生活していると「アフリカ」と一括りにしがちですが、そこには多様な暮らしや文化が存在しています。本プログラムではアフリカの“食”を通して、多様性に満ちたアフリカの文化、自然環境、国家背景を知る機会に繋げることを目指します。

14:00~15:00

アフリカ料理を通してみるアフリカの国々と文化

講師:山崎 瑛莉 氏(上智大学学事局 SFPD推進室 University Education Administrator)

モロッコ、タンザニア、エチオピア、チュニジア、ルワンダ、コートジボワール等、アフリカ約15ヶ国を実際に訪れると共に、アフリカ料理のレストランで料理人としての経験も持つ山崎氏。本講演では身近な存在である「料理」からアフリカの国々と文化を探っていくと共に、家庭でも挑戦できるアフリカ料理のレシピを紹介します。



山崎 瑛莉 氏

15:10~16:30

料理が教えてくれる“知ること”の大切さ

登壇者:冬野 由季 氏(青年海外協力隊大阪府OB・OG会)

ムカディ・イルンガ, S.J.(上智大学大学院文学研究科哲学専攻)

並木 莉杏(上智大学総合人間科学部教育学科)

JICA海外協力隊としてマラウイで活動された冬野さんと、上智大学の大学院で学ばれているコンゴ民主共和国出身のムカディ神父、そして、コートジボワールへの渡航経験に加え、セネガルでのインターン経験がある上智大学生が、食文化を通じた相互理解の重要性についてトークセッションいたします。

広大な大陸であるアフリカは、地域によって地形や気候、歴史的背景が異なることから、食文化も多彩です。それらを体験したことからわかった違いや共通点について紹介し、参加者とともに文化を知ることの大切さを考えていきます。



冬野 由季 氏

青年海外協力隊2018年度1次隊として、アフリカのマラウイで活動。言語聴覚士。青年海外協力隊大阪府OB・OG会(著、編集)「くらして初めて知った(ど)ローカルごはん:日本で作れる世界のレシピとお話」ではマラウイの料理とコラムを執筆。

「日本のお家で作れるアフリカ料理のレシピ」
を参加者全員にプレゼントします!

会場・お問い合わせ

上智大学
大阪サテライトキャンパス

大阪市北区豊崎3丁目12番8号 サクラファミリア(カトリック大阪梅田教会)2階

電話:06-6450-8741 開室時間:平日10:00~18:00

【アクセス】

- ・地下鉄御堂筋線「中津駅」4番出口より徒歩3分
- ・阪急「梅田駅」茶屋町口より徒歩4分
- ・JR「大阪駅」御堂筋北口より徒歩10分



<http://www.sophia-osaka.jp/>

